

かまがいと
釜垣内遺跡（第2次）

釜垣内遺跡の発掘は、前半部分の調査が終了し、後半に入りました。

そこで今回、調査で発見されたことやわかってきたことの一部を紹介します。

1. 縄文土器が見つかりました



左の写真が、出土した縄文土器です。形などから縄文時代の終わり頃（今から 2,500 年ほど前）のものだと推定できます。

この場所に縄文人の営みがあったといえます。

2. 落とし穴か？



左の写真は、見つかった穴を撮影したものです。直径 1 m、深さ 1～1.5mほどの大きさのものが 10 数個見つかりました。

動物を捕るための落とし穴だった可能性もあります。

3. ^{やまぢゃわん}山茶碗がたくさん見つかりました



山茶碗は、鎌倉時代頃（今から 800 年ほど前）につくられた土器です。発見された山茶碗のなかには、左の写真のように墨で文字を書いた痕が確認できるものがいくつかあります。

上の写真は、山茶碗の底の部分です。赤い○の中に「大」の文字が墨で書かれているのがわかるでしょうか？

問い合わせ先：

〒512-8064 三重県四日市市伊坂町 126-1

三重県埋蔵文化財センター 調査研究 3 課四日市整理所

担当：鈴木規之 小原雄也

電話番号：059-363-3195／ファックス：059-363-3196

e-mail：maibun@pref.mie.jp